令和8年度
久留米市
雇用優良事業所

女性労働者活躍推進事業所
株式会社 SANCYO
さんちょう

■業種 ／ 障害福祉サービス事業、就労継続支援A型事業、相談支援事業
■常用労働者数 ／ 45人（男性17人、女性28人）
■所在地 ／ 久留米市通町5-18イデックビルⅠ 3F

取組内容

●管理職割合　女性50%　男性50%（令和8年7月24日時点）
●入社時に言語化ワークショップなどのコミュニケーション研修を実施し、多様性への理解を育む基礎教育を行っている。
●「NEXTリーダー制度」により、職員が自ら管理職候補に立候補できる仕組みを整備している。
●女性職員の継続就業・キャリア中断防止の支援体制を整えている。
●女性職員の定着・活躍を支援する「1 ON 1」面談を実施している。

自分らしく能力を発揮できる職場を目指して

株式会社SANCYOは、「生きづらさや働きづらさのない世の中を創る」というビジョンのもと障害福祉サービス事業、就労継続支援A型事業、相談支援事業などを行っています。福祉を起点に働くことや暮らすことの選択肢を広げていく会社です。

女性の管理職登用・キャリア支援として「NEXTリーダー制度」があり、職員が自ら管理職候補に立候補できる仕組みを整備することで、女性職員の管理職登用機会を制度的に確保し、段階的に管理職へ移行できるキャリアパスを構築しています。小村サービス管理責任者は「管理職になってからは、サービスや業務全体に目を配るようになりました。視野を広げ、仕事や職員、利用者へ細やかに対応するよう心がけています。」と語ります。中島人事リード（人事責任者）は「NEXTリーダー制度を利用し、管理職候補に立候補してチャレンジしてほしいです。面談をしっかり行い、一人一人の適正を考慮していきますので、能力を発揮できる環境でステップアップしてもらいたいです。」と期待を寄せています。

女性職員の継続就業とキャリア中断防止の実現に向け、ライフステージが変化しても安心して働き続けられる環境づくりに取り組んでいます。

育児休業取得者が安心して業務の引継ぎができるよう、代替人員への十分な引継ぎ期間を確保すべく2ヶ月前の採用を目標にしています。また、復帰する際には、本人の希望を丁寧に聴き取り、状況に合わせてスムーズに戻ってこられるよう、社内の連絡を密に取り合っています。時短勤務など働きやすさを一緒に模索し、実際の生活との両立について相談しながら、無理なく能力を発揮してもらえるような仕組みづくりを行っています。



代表取締役
かむら　ゆうた
嘉村　裕太 さん



社内広報誌をデザインする利用者。
業務を通じた就労支援として、社内広報誌を制作。
全体の進行や品質管理は支援員が行い、実際の制作作業は利用者が担当している。

女性職員の定着・活躍を支援する取り組みとして、全社員を対象に月1回、上司との「1 ON 1」面談を実施しています。業務やキャリア形成、働き方の悩みなど安心して相談できる体制を整備し、継続的にフォローしています。子育てをしながら働く職員も多く、それぞれの状況を理解し合いながら、仕事だけでなく、職員の暮らしも大切にできるチームを目指しています。

「職員に働く楽しさを実感してもらうことで、利用者にも働きやすさを知ってもらえたらと思っています。職員の中には、結婚・出産・育児といったライフステージの変化に様々な影響を受ける人もいるので、その変化に合わせて対応していきます。一人一人の働きたいという気持ちを大切にして、みんなで会社を盛り立てていきたいです。」と中島人事リード。誰もが自分らしく能力を発揮できる職場を目指して、これからもワンチームで前へ進んでいきます。



サービス管理責任者の小村さん（左）と
生活支援員の馬渡さん（右）。
職員のコミュニケーションが
働きやすさにも繋がる。



日課のラジオ体操は今日1日の元気と笑顔の源。